

# Proofpoint

## 電子メールセキュリティソリューション

Proofpoint のメッセージングセキュリティソリューションは、アプライアンス、仮想アプライアンス、Proofpoint on Demand (SaaS/ クラウドサービス)、そして Proofpoint Protection Server ソフトウェアなどの多様な展開モデルをサポートしており、DoS (サービス拒否攻撃) および DHA (ディレクトリ獲得攻撃) などインバウンドメッセージに伴う脅威からの防御、機密情報の漏洩防止、メッセージの暗号化、メッセージングインフラの分析を行います。

これらの統合型アーキテクチャ、ポリシー管理インターフェースは、まさにエンタープライズゲートウェイにおけるあらゆる種類のメッセージングリスクから組織を守ります。そして Proofpoint のモジュール式アーキテクチャにより、必要に応じて新たな防御機能を簡単に導入することができます。



- Proofpoint On Demand (SaaS/ クラウド)
- 仮想アプライアンス
- アプライアンス
- ソフトウェア



### インバウンドセキュリティ

**Proofpoint Dynamic Reputation (ダイナミックレピュテーション)** は、強力なマシンラーニングアルゴリズムによって分析されたローカルな予測行動データと、グローバルに観察したレピュテーションを組み合わせて、悪意のある IP アドレスからのコネクションを阻止する最も効果的な電子メールレピュテーションサービスです。

**Proofpoint Spam Detection (スパム対策)** は、スパム、アダルトコンテンツおよびフィッシング攻撃に対する完璧な防御を提供します。スパム対策の基盤となる Proofpoint MLX™ マシンラーニングテクノロジーは、検出アルゴリズムを自動的に調整・識別できる画期的なスパム検出システムを提供します。これにより、極めて低い誤検率を誇り、日本語検出率 99.8% 以上 (2010 年実績) の比類のない効果を発揮します。

**Proofpoint Virus Protection (ウィルス対策)** は、世界をリードする 2 つのアンチウィルスエンジン、F-Secure または McAfee を備え、電子メールを媒体としたウィルス、ワーム、トロイの木馬から企業を保護します。

**Proofpoint Zero-Hour Anti-Virus (ゼロアワーウィルス対策)** は、新しいウィルスに対応するシグナチャが配布されるまでの数時間という初期段階でアウトブレイクするウィルスの脅威から企業を防御します。

### アウトバウンドセキュリティ

**Proofpoint Digital Asset Security (デジタル資産保護)** は、大切な企業の資産や機密情報が電子メールを通して社外に漏洩するのを防ぎます。

**Proofpoint Regulatory Compliance (コンプライアンス対応)** は、企業が HIPAA, GLBA, SOX 法 (サーベンス・オクスリー法)、CA SB-1386 などのプライバシー規制に関連する債務を負うことのないよう企業を守ります。日本の運転免許証番号、住民票コード、クレジットカード番号の自動検出も可能です。

**Proofpoint Encryption (暗号化)** は、ポリシー・コンテンツベースで電子メールを暗号化し、データ損失および規制違反のリスクを軽減します。SaaS ベースの鍵管理とプッシュ型アーキテクチャによりメンテナンスコストを大幅に削減する革新的な暗号化ソリューションです。特別なクライアントソフトは必要ありません。

**Proofpoint Smart Search (スマートサーチ)** は、Proofpoint の内蔵ロギング/レポート機能強化し、メッセージングインフラ全体にわたるメッセージの流れを追跡し様々なレポートを生成します。※ソフトウェア版ではご利用いただけません。

### 電子メールアーカイブ

**Proofpoint ARCHIVE (電子メールアーカイブ)** は、eDiscovery (電子情報開示) に伴う高速な検索、マイクログソフト Exchange サーバのディスク管理を兼ね備えた画期的な電子メールアーカイブサービスです。クラウドコンピューティングとオンプレミスアプライアンスで構成された独特なハイブリッド展開モデルで高速な検索と完全なデータ保護を実現します。

### 大容量ファイル転送

**Proofpoint Secure File Transfer (PSFT: 大容量ファイル転送)** は、エンドユーザがメールサーバに負担を与えることなく大容量の添付ファイルを安全かつ容易に送受信することを可能にします。ユーザ認証方式やファイルダウンロード時のセキュリティポリシーを柔軟に設定できるので、企業におけるファイル転送の適切な管理を実現します。

## Proofpoint on Demand (PoD) SaaS 型メールセキュリティソリューション

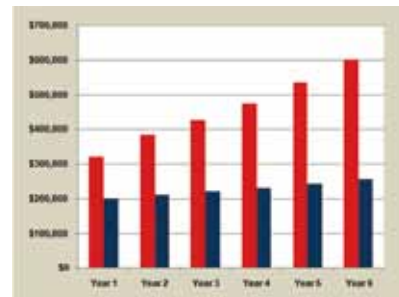
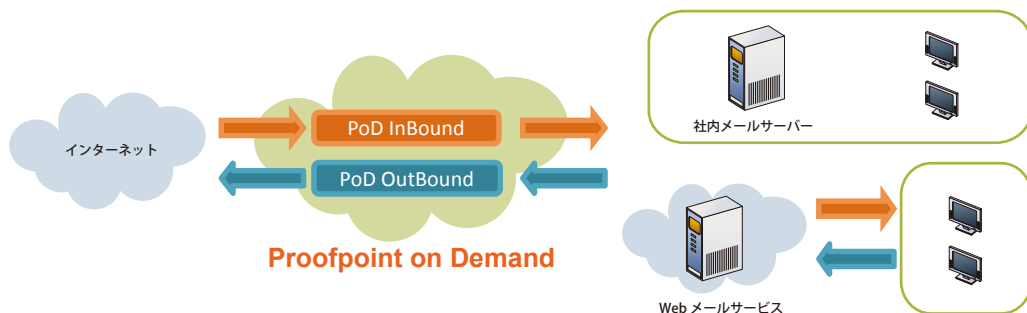
### 電子メールセキュリティの新しい形

圧倒的低コストと TCO の削減を実現

Proofpoint on Demand (PoD) は、クラウドインフラをベースにした Proofpoint の SaaS 型セキュリティサービスです。設置に手間やコストのかかるアプライアンスベースのソリューションとは異なり、どのようなユーザ数でも、短期間にサービスを提供開始することができます。スタート時のハードウェア導入コストも保守費用もかからず、ユーザ数に応じた利用料金のみで負担いただければよいので、長期間利用した場合の TCO はオンプレミス型のソリューションに比べ、非常に低く抑えることが可能で、右記のシミュレーションでは、6 年間で 48% ものコスト削減効果が見込めます。高い利便性と TCO の削減を同時に実現できる、新しいセキュリティの形です。

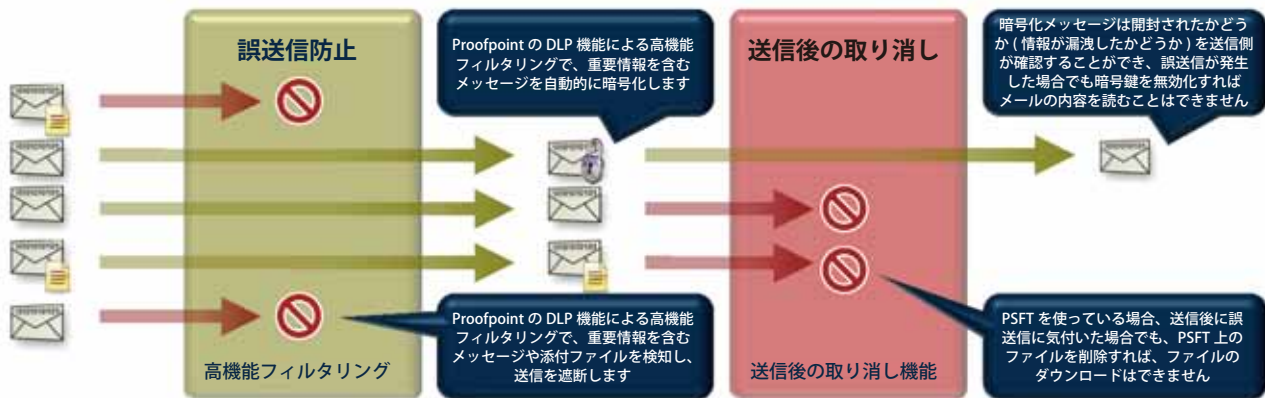
**Web メールサービスのセキュリティを強化**

クラウドサービスの中でも普及が進んでいる Web メールサービスですが、セキュリティ面では機能が足りない部分もあるようです。PoD と Web メールサービスを組み合わせれば、手軽で安全なメール環境を構築することができます。



**SaaS ソリューションのコスト削減効果**  
 6,000 人のユーザをサポートするために必要なメールセキュリティアプライアンスの導入・アップグレード・増強費用 (減価償却費用として計算) および 6 年間の管理コスト (メンテナンス、バージョンアップ、人件費、電気代) と、Proofpoint on Demand によるセキュリティコストを比較したグラフ。赤が他社製アプライアンスを導入した場合のコスト、紺が Proofpoint on Demand。ユーザ数は毎年 5%、スパム量は毎年 100% 増加すると仮定。

## 誤送信を「防ぐ」DLP と、送信後に「取り消せる」誤送信対策



電子メールは今や日常業務と切っても切れない関係にあります。電子メールの利用頻度が増えると、避けられないのが誤送信。これまで提案されてきた DLP (Data Loss Prevention: 情報漏洩防止) テクノロジーをベースとした誤送信防止が提案されてきましたが、送ってしまった後にそのメールを「撤回」することはできませんでした。Proofpoint の誤送信対策は、Proofpoint がこれまで培ってきた DLP テクノロジーと、Proofpoint Protection Server でサポートされた最新の機能を組み合わせて実現する複数の誤送信対策から構成されており、送信後の取り消しも可能になっています。お客様は、これらの対策を自由に組み合わせて、自社に最適な誤送信対策ソリューションを段階的に構築できます。また、監査モードにより、導入前の効果検証を行うことも可能です。

## Proofpoint アプライアンスモデル



\*1 各モデルのプロセッサスペックは開示しておりません。

\*2 消費電力は最大値を表しています。

\*3 記載のスループットは推奨値です。ご使用になる機能によって値が変わる場合があります。

\*4 Agent 専用機の場合。

	P350	P650	P850	P850M	F350	F650	F850M
シャーシ	1U	1U	1U	2U	1U	1U	2U
プロセッサ *1	1 x Intel Xeon Quad Core	1 x Intel Xeon Quad Core	2 x Intel Xeon Quad Core	2 x Intel Xeon Quad Core	1 x Intel Xeon Quad Core	1 x Intel Xeon Quad Core	2 x Intel Xeon Quad Core
メモリ	4GB	6GB	12GB	24GB	4GB	6GB	24GB
ディスク	2 x 250GB SATA 7200 rpm, RAID1	2 x 300GB SAS 10k rpm, RAID1	2 x 300GB SAS 10k rpm, RAID1	6 x 300GB SAS 15k rpm, RAID10	2 x 250GB SATA 7200rpm, RAID1	2 x 300GB SAS 10k rpm, RAID1	6 x 300GB SAS 15k rpm, RAID10
ネットワーク	2 x Gigabit BaseT	4 x Gigabit BaseT	4 x Gigabit BaseT	4 x Gigabit BaseT	2 x Gigabit BaseT	2 x Gigabit BaseT	2 x Gigabit BaseT
パワーサプライ *2	1 @ 250W	2 @ 各 502W	2 @ 各 502W	2 @ 各 870W	1 @ 250W	2 @ 各 502W	2 @ 各 870W
スループット *3 (平均)	60,000 通/h *4	160,000 通/h *4	160,000 通/h	260,000 通/h	-	-	-

## Proofpoint Protection Server (Linux 版) / 仮想アプライアンス動作環境

	Proofpoint Protection Server v6.3	Proofpoint Messaging Security Gateway Virtual Edition v6.3
プロセッサ	x86 - Pentium 4, Xeon, Core, Core 2, Athlon and Opteron	CPU x 2
メモリ	4GB 以上 (推奨)	4GB 以上 (推奨)
HDD	80GB 以上 (推奨)	80GB 以上 (推奨)
OS	Red Hat Enterprise Linux または CentOS version 4 および 5 (32 ビットまたは 64 ビット) 64 ビットには 32-bit Red Hat compatibility mode package が必要	VMware Server 2.0 (ラボ、評価環境用) VMware ESX/ESXi 4.0 および 4.1

### Proofpoint について

Proofpoint Inc. は 2002 年、Netscape Communications の元 CTO エリック・ハーン (Eric Hahn) によって設立されました。現在では世界 50 力国以上の企業、ISP、大学および政府機関など 4,000 以上の実績 (11/1 現在) があり、業界で最も急成長している統合型メッセージングセキュリティのリーディングカンパニーです。

### Proofpoint の統合型メッセージングセキュリティインフラ

スパム・ウイルスなどインバウンドメッセージの脅威、アウトバウンドメッセージによる情報漏えいやコンプライアンス対応など、エンタープライズゲートウェイにおけるあらゆる種類のメッセージングリスクから組織を守ります。Proofpoint は、クラウド、仮想アプライアンス、アプライアンスなどの顧客ニーズに応じた導入形態に加え、電子メール (SMTP) および Web (HTTP) トラフィックも統合管理できる完全なセキュリティインフラを提供します。

©2011 Proofpoint, Inc. Proofpoint Protection Server, Proofpoint Messaging Security Gateway, Proofpoint Spam Detection, Proofpoint Virus Protection, Proofpoint Digital Asset Security, Proofpoint Regulatory Compliance, Proofpoint MLX, Proofpoint Dynamic Reputation, および Proofpoint on Demand は、米国およびその他の国々における Proofpoint, Inc. の商標または登録商標です。このカタログに含まれるその他のすべての商標はそれぞれの所有者の所有物です。

**proofpoint**

日本プルーフポイント株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-2 ビュレックス麹町

TEL: 03-5210-3611, FAX: 03-5210-3615

Email: sales-japan@proofpoint.com

URL: http://www.proofpoint.co.jp

本カタログの内容は 2011 年 8 月現在のものです。仕様、価格等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。ご購入にあたり、最新のサポート状況を弊社もしくは正規販売代理店にお問い合わせください。

お問い合わせ